

令和6年度 認定看護管理者教育課程 募集要項



【ファーストレベルⅠ期】

開催期間：令和6年5月14日（火）～6月7日（金）

【ファーストレベルⅡ期】

開催期間：令和6年11月26日（火）～12月20日（金）

【ファーストレベルⅢ期】

開催期間：令和7年1月9日（木）～2月14日（金）
（基本：木・金・土コース）

【セカンドレベル】

開催期間：令和6年7月1日（月）～8月21日（水）
インターバル期間：8月8日～16日（臨地実習1日あり）

【サードレベル】

開催期間：令和6年9月18日（水）～11月7日（木）
インターバル期間：10月15日～18日（臨地実習1日あり）



公益社団法人兵庫県看護協会

1. 教育理念

公益社団法人 兵庫県看護協会の認定看護管理者教育課程は、日本看護協会認定看護管理者規程第1条の目的に基づき、保健医療福祉を取り巻く環境の変化に対応し、創造的に柔軟に変革する能力を有する看護管理者の育成を目的とする。

2. 各課程における教育目的・到達目標・受講要件

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル
教育目的	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する	看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する	多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる 	<ol style="list-style-type: none"> 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる 経営管理の視点に立ったマネジメントを展開できる
受講要件	<ol style="list-style-type: none"> 日本国の看護師免許を有する者 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 管理業務に関心がある者 	<ol style="list-style-type: none"> 日本国の看護師免許を有する者 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者 	<ol style="list-style-type: none"> 日本国の看護師免許を有する者 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

3. 各課程の教科目（時間）・単元と修了要件

ファーストレベル		セカンドレベル		サードレベル	
教科目 (時間)	単元	教科目 (時間)	単元	教科目 (時間)	単元
ヘルスケアシステム論Ⅰ (15)	1) 社会保障制度概論 2) 保健医療福祉サービスの提供体制 3) ヘルスケアサービスにおける看護の役割	ヘルスケアシステム論Ⅱ (15)	1) 社会保障制度の現状と課題 2) 保健医療福祉サービスの現状と課題 3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携	ヘルスケアシステム論Ⅲ (30)	1) 社会保障制度・政策の動向 2) 看護制度・政策の動向 3) ヘルスケアサービスの創造
組織管理論Ⅰ (15)	1) 組織マネジメント概論 2) 看護実践における倫理	組織管理論Ⅱ (30)	1) 組織マネジメントの実際 2) 看護実践における倫理	組織管理論Ⅲ (30)	1) 組織デザインと組織運営 2) 組織における倫理
人材管理Ⅰ (30)	1) 労務管理の基礎知識 2) 看護チームマネジメント 3) 人材育成の基礎理論	人材管理Ⅱ (45)	1) 人事・労務管理 2) 多職種チームのマネジメント 3) 人材を育てるマネジメント	人材管理Ⅲ (15)	1) 社会システムと労務管理 2) 看護管理者の育成
資源管理Ⅰ (15)	1) 経営資源と管理の基礎知識 2) 看護実践における情報管理	資源管理Ⅱ (15)	1) 経営資源と管理の実際 2) 看護管理における情報管理	資源管理Ⅲ (30)	1) 経営戦略 2) 財務管理 3) 組織的情報管理
質管理Ⅰ (15)	1) 看護サービスの質管理	質管理Ⅱ (30)	1) 看護サービスの質保証 2) 安全管理	質管理Ⅲ (30)	1) 経営と質管理 2) 組織の安全管理
統合演習Ⅰ (21)	1) 演習	統合演習Ⅱ (45)	1) 演習 2) 実習	統合演習Ⅲ (45)	1) 演習 2) 実習
総時間	111 時間	総時間	180 時間	総時間	180 時間
教育課程の修了要件	<p>認定看護管理者カリキュラム基準に定める全教科目の習得をもって認定看護管理者教育課程の修了とする教科目の修了とは、以下の項目を満たした場合をいう</p> <p>1) 各教科目の所定時間数の4/5以上を出席している事</p> <p>2) 各教科目のレポート評価がC以上（S・A・B・C・Dの5段階評価）である事</p> <p>S：90点～100点 A：80点～89点 B：70点～79点 C：60～69点 D：59点以下</p> <p>再審査について</p> <p>教科目でD判定を受けた場合は、該当教科目の科目レポートを再提出する</p> <p>レポートの再提出は1回限り認める。評定はC・Dの2段階評価とし、C以上を合格とする</p> <p>再審査の場合、1教科目審査に対し8,800円（税込み）が自己負担となる</p>				
修了審査	<p>1) 修了審査は認定看護管理者教育運営委員会が行う。修了審査において合格した者に「修了証」を授与する</p> <p>2) 修了要件を満たさず修了できない場合は、受講年度もしくは翌年に未修了教科目の受講を認める</p>				

4. 各課程の開講期間・申込期間・受講料等

課程	ファーストレベル			セカンドレベル	サードレベル
	I期	II期	III期		
定員	60名	60名	60名	60名	30名
開催期間	5月14日(火)～ 6月7日(金)	11月26日(火)～ 12月20日(金)	1月9日(木)～ 2月14日(金) 木・金・土に実施 最終週は 月・水・木・金	7月1日(月)～ 8月21日(水) 【インターバル期間】 8月8日～16日 臨地実習1日間あり	9月18日(水)～ 11月7日(木) 【インターバル期間】 10月15日～18日 臨地実習1日間あり
	上記日程の内19日間(111時間)			上記日程の内31日間 (180時間)	上記日程の内31日間 (180時間)
申込期間	令和6年2月13日(火)～3月4日(月)			3月11日(月)～ 3月27日(水)	5月27日(月)～ 6月13日(木)
受講可否	4月上旬			5月下旬	7月下旬
入講審査料 *税込	無し			無し	11,000
受講料 *税込	会 員：109,430円 非会員：200,200円 (修了審査料等含む)			会 員：198,800円 非会員：303,570円 (実習費及び 修了審査料等含む)	会 員：264,700円 非会員：395,650円 (実習費及び 修了審査料等含む)

※会員とは令和6年度の会員手続き済みの日本看護協会会員の事である。令和6年度の手続きがお済みでない方は非会員扱いとなる

※原則として受講料納入後の払い戻しはしない

5. 申込み方法 ※各種様式は兵庫県看護協会ホームページからダウンロードする。

受講申込み：マナブルから申込み

本会ホームページの研修申込みサイト「マナブル」の申込みフォームより必要事項を入力の上、お申込みください。

※入力事項については参考資料参照

- ・ ファーストレベル 「No521 令和6年度ファーストレベル」受講申込み
- ・ セカンドレベル 「No522 令和6年度セカンドレベル」受講申込み
- ・ サードレベル 「No523 令和6年度サードレベル」受講申込み

提出書類：郵送にて提出

1) 受講動機(様式1)

※「受講動機」(600字程度)については、下記に基づいて記載する

- ① 受講動機・意欲が明確であること
- ② 看護管理に関する学習課題を持ち、果たすべき役割を認識していること
- ③ 文字数が守られ、文章が明確でわかりやすく、誤字・脱字がないこと

2) 勤務証明書(様式2) *実務経験5年以上を証明する必要あり

3) 返信用レターパック 370円：1枚

返信先の住所、氏名(ご本人)を明記すること。返信は本人個人にしますので、レターパックは受講者1名に付き1枚を同封する

*セカンドレベル・サードレベルを受講申込みの方（上記、1）2）3）の他に下記の書類が必要）

4) 教育課程修了証の写し

セカンドレベル申込者はファーストレベル修了証の写し

サードレベル申込者はセカンドレベル修了証の写し

5) 職位証明書（様式3）

ファーストレベル又はセカンドレベルが未修了者であっても、以下の条件に当てはまる方は申込みができる。

その場合、職位証明書が必要

※看護部長相当の職位にある者・副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

小論文（様式4） ※ 8.選考基準【セカンドレベル・サードレベル】3）を参照 **3部提出**

提出方法

封筒の表左端に朱書きで「〇〇レベル 受講申込書在中」と記載し、下記担当者宛に郵送する。書類の記載不備は受領できないため注意すること。提出締め切りは最終募集日 15 時必着

〒650-0011 神戸市中央区下山手通5丁目6番24号
 公益社団法人 兵庫県看護協会 教育認定部 担当者 宛
 TEL 078-351-2920

6. サードレベルの入講審査料について

入講審査料 : 11,000 円（税込み） ※日本看護協会 会員・非会員問わず

入金期間 : 5月27日（月）～6月13日（木）

ゆうちょ銀行の払い込み取扱票に、氏名、施設名および入講審査料と明記し下記の口座にお振込みください

振込先 : ゆうちょ銀行
 口座番号 : 00950-6-72155
 口座名義 : 公益社団法人 兵庫県看護協会

※振替払込請求書兼受領書を領収証とし、原則として新たな領収証の発行はいたしません

※既納の入講審査料は原則として返還できません

※振込手数料は、各自ご負担ください

7. 受講申込み事項一覧 ※漏れがないよう確認してください

	必要条件 受講要件	受講 申込 マナブル	受講 動機 (様式1)	勤務 証明書 (様式2)	返信用 レター バック	修了書 の写し	職位 証明書 (様式3)	小論文 3部 (様式4)
ファースト レベル	看護管理に関心のある者	○	○	○	○	×	×	×
セカンド レベル	ファーストレベル修了者	○	○	○	○	○	×	○
	看護部長相当の職位にある者、 もしくは副看護部長相当の職位に 1年以上就いている者	○	○	○	○	×	○	○
サード レベル	セカンドレベル修了者	○	○	○	○	○	×	○
	看護部長相当の職位にある者、 もしくは副看護部長相当の職位に 1年以上就いている者	○	○	○	○	×	○	○

8. 選考基準

【ファーストレベル】

- 1) 受講要件を満たしていること
- 2) 提出書類に不備がないこと

※応募者が募集定員を超える場合は、「受講動機」等を基に認定看護管理者教育運営委員会で審査する

【セカンドレベル・サードレベル】

- 1) 受講要件を満たしていること
- 2) 提出書類に不備がないこと
- 3) 小論文 ※ A4用紙1枚(様式4)

※兵庫県看護協会 認定看護管理者教育運営委員会において、小論文の評価基準に沿って審査する

*小論文テーマ

セカンドレベル	サードレベル
「自部署(自施設)の現状分析を通して看護管理上の課題を明らかにし、改善に向けての取り組みの状況と残された課題について述べなさい。」(1000字程度)	「多様なヘルスケアニーズを持つ、個人、家族及び地域住民に対する質の高い組織的看護サービスを提供するために、看護管理者の視点で取り組んだ内容と今後取り組むべき自組織の看護管理上の課題と展望について分析結果をもとに述べなさい。」(1200字程度)

*小論文の評価の視点

内容	<ul style="list-style-type: none">・ 小論文の課題を正しく理解した内容を記述している・ 筋道を立て他者が理解しやすい文章になっている・ 論旨が一貫している・ 自分の立場(職位)から自施設の課題とその対策を具体的に述べている・ 具体的な事実や経験に基づき展開し、自分の意見を述べている・ 記述に倫理的配慮がある
文章構成	<ul style="list-style-type: none">・ 段落構成は序論・本論・結論になっている・ 適切な言葉・表現を用いている・ 規定に沿って記述している・ 文法上の誤りがない

結果通知

受講の可否は申込者本人宛に文書で通知する。また、「受講可」の方には受講手続き方法を選考結果通知時に同封する

9. その他

- ・ 受講キャンセルの場合は、電話で連絡の上、受講辞退届を提出して頂く。研修開始前に早めに連絡のこと
- ・ 受講決定後の氏名や勤務先の変更時は研修開始前に連絡すること
- ・ 本会の個人情報保護規程に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行う。また、応募にあたって提出された個人情報に関して、研修に伴う書類作成・発送に用い、それ以外の目的では使用しない。尚、提出された書類は返却しない

参考 令和6年度 ファーストレベルの受講申込フォーム入力事項

※本会ホームページ研修申込サイト（マナブル）の申込フォームに入力ください。

※記載の不備は無効となる可能性があります。

※セカンドレベル・サードレベルでは、「希望する課程」や「受講歴」などの項目が異なります。

受講申込み必要項目	・該当する事項には <input checked="" type="checkbox"/> をつける ・空欄には正確に入力する
受講環境（PC等の準備・マイク・カメラ）が整いますか （一部オンラインに切り替わる可能性があります）	<input type="checkbox"/> 受講環境について整います
希望する課程	<input type="checkbox"/> ファーストレベルⅠ期 <input type="checkbox"/> ファーストレベルⅢ期 <input type="checkbox"/> ファーストレベルⅠ期またはⅡ期 <input type="checkbox"/> ファーストレベルⅡ期またはⅢ期
優先順位（申込者複数の施設は記載）	
受講年度の看護協会入会状況 ※選考に影響しません	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 入会手続き中
日本看護協会 会員番号	
兵庫県看護協会 会員番号	
施設番号	
所属施設 ※設置主体から正式名称で記載	
施設住所	
施設電話番号	
病床数	
現在の勤務場所	<input type="checkbox"/> 病棟 <input type="checkbox"/> 外来 <input type="checkbox"/> その他
現在の勤務場所の科、または「その他」の内容	
職位	<input type="checkbox"/> 看護部長職相当 <input type="checkbox"/> 看護副部長職相当 <input type="checkbox"/> 師長職相当 <input type="checkbox"/> 主任職相当 <input type="checkbox"/> スタッフ
実務経験年数 ※免許取得後の実務経験 准看護師経験は含まない	年 月
管理年数 ※主任以上の管理経験年数	
認定資格	<input type="checkbox"/> 認定看護師 <input type="checkbox"/> 専門看護師
認定・専門看護師を選択された分野	
自宅住所 ※集合住宅の場合はマンション名・部屋番号まで入力	
連絡用携帯番号	
連絡用メールアドレス ※マナブル登録と異なる場合のみ	
受講決定に関する書類の送付先の希望	<input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 自宅
ファーストレベル（セカンドレベル）修了者は修了年度	西暦 年度

勤務証明書

令和 年 月 日

氏名 _____

在職期間

上記の者は当施設において、看護師として以下の通り勤務している（した）ことを証明します。

_____年 _____月より

_____年 _____月まで 在職 _____年 _____ヶ月間

.....

*本書1枚で「実務経験5年以上」を証明できない場合は、本書を複写し、複数枚提出してください。

施設名：

所在地：

施設長名：

印

職位証明書

令和 年 月 日

氏名 _____

上記の者は当施設において、以下の職位である（あった）ことを証明します。

*下記1) 2) のどちらか該当する欄を選び記載してください。

1) 看護部長相当の職位にある者

職位 : _____

2) 副看護部長相当の職にある者

職位 : _____

職位就任期間 : _____ 年 _____ 月より

_____ 年 _____ 月まで

施設名 :

所在地 :

施設長名 :

印

小論文

テーマ：「自身のテーマを記載する」

氏名： _____ 職位： _____ 施設名： _____

提出年月日： 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

本文
○○○○○

規定	<ul style="list-style-type: none">・用紙サイズ：A4・横書きで11ポイント・フォントはMS明朝とする・本文は1行空けて記載する・本文を箇条書きにしない・表や図を使用しない・本文の最後に<u>総文字数を記載する</u>・参考文献・引用文献の記載は不要
----	--